

観光問題

問 グリーン期の誘客対策は

答 総合スポーツ合宿の聖地を目指す



田中 榮一 議員

【観光振興対策について】

問

村長

冬季観光客が減少している現在、グリーンシーズンに向けての対策は、ズン誘客に向けての対策は、

村長

スキー市場の減少傾向が激化する中、通年観光へシフトさせていくことは必然的なことです。グリーンシーズンの観光を推進する上で、今まで以上の良質なサービスの提供と、併せてソフト・ハード面の整備が急務です。このような状況の中で、新たな観光振興策として「総合スポーツ合宿と癒しの聖地白馬」をスローガンにスポーツツーリズムを展開したいと考



2012ジャパン・パラリンピック冬季競技大会（スノーハープ）2月19日

え、スノーハープ大規模改修を計画しました。

問

事業の推進にあたり主となる担当課は。

村長

施設整備の担当は教育委員会スポーツ課。ス

ポーツ合宿の誘客活動は、観光農政課、観光局が一体となり、私が先頭に立ちトップセールスにあたりPR活動に努めます。村の観光を冬から夏へ大きくシフトさせようと取り組むプロジェクトであり、関係各課の連携によりチーム機能を発揮させていきます。

問

村長

構想実現のためには、村民との連携強化や積極的な情報公開を。

村長

実現には、住民の理解が一番大切であるとの認識にたち、「身近な村政の創出」という視点で取り組んでいます。今回のスノーハープ大改修には、白馬の観光再生の浮沈をかけて望むものであり、村民の皆様のご理解や、協働のもとに進めてまいります。

【防災対策について】

問

今年の1月に大規模災害を想定した防災訓練が開催されたが、訓練で得られた成果と課題は。

村長

成果としては、災害対策本部内の情報共有の方法、意思決定と支持系統を確認することができました。重要な情報が入った場合、情報の取得から共有、意思決定から対応策の実行まで、災害対応の一連の流れとその中で着目すべき点を確認できました。課題としては、刻々と変化する時々の状況、災害対応方針や見直しなど、住民が求めている情報の提供において課題が浮き彫りになりました。時間的制約もあり、住民の避難誘導と安否確認段階で訓練終了となり、住民の安全確保までできませんでした。

問

村長

白馬村地域防災計画の見直しは。平成23年に発生した大規模災害等への対応において浮き彫りになった課題について、検証、検討し防災体制の見直し作業を進めてまいります。